

『住宅都市にふさわしい快適な道路交通環境づくり』

1．目指す姿

誰もが便利な公共バス体系が確立されすいすいける安心のまち
狭隘道路や生活道路の安全・整備のすすむまち
サイクルシティづくりのすすむ元気な環境都市

2．指標

3．現状と課題

国道 171 号線、国道 423 号線や周辺に名神高速道路などの交通網が発達し都市交通の環境に恵まれ、市内の交通環境は府道や市道も整備され、各地域と箕面駅、市役所、市立病院や千里中央などを結ぶバス路線が広がっています。車が増えつづけ、CO2 排出増加や空気中に漂うチリ・悪性微粒子状物質などの環境問題や高齢化がすすむなか、車に依存したマイカー優先の暮らしは難しくなり、交通弱者は更に増加します。

道路の既存ストックを基に、交通調査を行い、車の交通体系の総合的検討をすすめ、「公共交通プラン」をつくります。東西交通の改善、交通不便地域の解消、高齢者・障がい者などの交通手段を確保する公共交通網整備をすすめます。自転車道の整備や利用しやすくする駐輪場など、健康にも環境にも良いサイクルシティ作りをすすめます。

都市づくりのなかで、残されている狭隘道路は、消防活動や救急車にも迅速な対応は困難です。地域のまちづくり協議会などに、住民、自治会や行政とともに「狭隘道路対策協議会（仮称）」をつくり、地先の買収や寄付を含め、その解消策を検討し、安全。安心の小さなまちづくりをすすめます。消防活動困難な地区の再点検活動を市民との協働ですすめ改善の努め、市民生活の安全、安心を高めます。

自転車・歩行空間や都市景観の向上など電柱地中化の目的と財政面や歩行者の安全などの課題のバランスに配慮しつつ、市民とともに地中化できる箇所を選別していきます。電柱の宅地内への移設も市民とともに検討し、歩道のフラット化や花・緑の道などの歩行者道の整備を協働ですすめます。

歩行者や自転車が安心して通行できるようにするため、各宅地の地先道路である生活道路への過剰な流入抜け道の解消に向けて、自動車交通の流れを調査・把握し、市の総合的な人と環境にやさしい交通体系の確立を目指します。

生活道路にノーカータイム、遊びゾーンの新設と管理を地域から市民協働で進めます。生活道路の整備にあたっては、市民の協力を得ながら幅員 4 m 以上を確保するように努め、道路としての機能を高めます。

4．取組・役割分担

(1) 市民等が取組むこと

- ・特に危険な箇所など地域から点検を行ないます。
- ・生活道路の整備や電柱の宅地内設置を検討します。
- ・車輛通過抑制型のコミュニティーゾーンの導入と管理
(生活道路にノーカータイム、遊びゾーンの新設)
- ・「狭隘道路対策協議会(仮称)」活動

(2) 市民等、行政が協働で取組むこと

- ・交通調査を行い「公共交通プラン」
- ・公共交通網整備と「小型バス」などの研究
- ・「狭隘道路対策協議会(仮称)」の設置と推進
- ・電柱地中化や電柱の宅地へ移設検討 車両の生活道路への流入を抑制対策

(3) 行政が取組むこと

- ・主要な生活幹線道路の整備計画の策定と事業費の確保
- ・歩道の整備、バス路線の狭あい部分の拡幅整備
- ・通学路の安全を図るため車両乗り入れの時間規制と公園道路化
- ・生活通学道路の狭あいな道区間を一方交通化し歩行者などの安全確保
- ・高齢者や障がい者等の交通手段の確保、公共交通網の推進計画
- ・駐車場の整備、事業者への一時停車のための駐車場確保等の要請
- ・サイクルシティ：現存する駐輪場への誘導 放置自転車対策の推進利用しやすい駐輪場

5．まちづくりの効果

公共交通を利用し障害者や高齢者のでやすい街
花とみどりの多い買い物や通学、通勤も楽しい道の連なるまち
環境にやさしい健康で安全な自転車専用道もあるサイクルシティ